

広報 いずも

第46号 平成19年(2007)2月8日発行

下水道普及率

(平成18年3月末現在)

61.4%

地域別

出雲	51.3%
平田	78.0%
佐田	89.5%
多伎	97.1%
湖陵	75.5%
大社	65.6%

きれいな水を 川や海に

『出雲市汚水処理整備計画』策定

私たちの生活に欠かせない水。台所や風呂、洗濯など、家庭で使用した汚水をそのまま流してしまつと川や海の汚染につながります。悪臭や害虫の発生の原因になるほか、農業や漁業にも悪影響をおよぼします。

公共下水道をはじめとする下水道事業の目的は、トイレが水洗化され、清潔で快適な生活が送れるようになるだけでなく、川や海の水質を保つために、汚れた水をきれいに浄化して流すことにあります。

現在、下水道事業は、合併前の旧市町が立てた計画によって進められています。合併協議会で、合併後2年をめどに新市で統一した整備計画を策定することにしており、昨年12月に『出雲市汚水処理整備計画』を策定しました。

4月からは、この計画をもとに、さらに効率的な整備を進めていきます。出雲市の下水道普及率(浄化槽含む)は、昨年3月末現在で61.4%。今後、計画どおりに整備を進め、平成40年ごろの100%普及を見込んでいます。

計画の概要は、2〜3ページでお知らせします。



流域関連公共下水道の終末処理施設である宍道湖西部浄化センター(大社町中荒木)には、下水管を通して各家庭や事業場などから毎日約1万9千トンもの排水が送られています。微生物を使ってきれいにした水を日本海に放流しています

目次

『出雲市汚水処理整備計画』策定 1~3

お知らせコーナー

6~7